

良い 缶バッジパーツ とは？

品質に関わる要素と
見分け方を解説



はじめに

缶バッジビジネスはユーザー層が広く、高い需要が見込まれるうえ、比較的参入のしやすい分野です。それだけに多くの競合のなかから選ばれる缶バッジを作るために、品質の良さで差別化を図る必要があります。

缶バッジは美しいデザインが持ち味である一方、非常にシンプルな構造です。商品としての**優れた仕上がりを実現するためには、根本となる各パーツ自体が良品であることが重要**です。

しかしそこを理解していても、どのようなパーツが高品質と言えるのか、また仕入業者の選定のポイントが今ひとつ掴めずに悩んでいるという場合もあるのではないのでしょうか。

このEbookでは、缶バッジビジネスを支えるパーツの良し悪し、その見分け方や選び方などについて解説します。

もくじ

はじめに	01
缶バッジ市場の拡大と品質の重要性	02
良い缶バッジパーツとは？	03
缶バッジパーツ選びで見るとべきポイント①	04
缶バッジパーツ選びで見るとべきポイント②	05
パーツだけではなくマシンもこだわりを	06
ハイクオリティな缶バッジパーツは「バッジマンネット」をご利用ください	07
まとめ	08

缶バッジ市場の拡大と品質の重要性

缶バッジはいつの時代でも廃ることなく愛されてきたアイテムですが、ビジネスとして見た場合には、今後どのような見通しがあるのでしょうか。

注目されるのは、缶バッジがキャラクターグッズの定番として不動の人気を持つ商品であることです。デザイン性に優れ、ファッション、コレクションアイテムとして高い価値があります。同一キャラクターでも無数のデザイン展開があり、年代や属性から見てもその愛好家やユーザー層は幅広いと考えられます。矢野経済研究所の「キャラクタービジネスに関する調査」によると、缶バッジと関連深い2023年度のキャラクタービジネス市場は、前年度比101.4%の2兆6,508億円と予測されています。

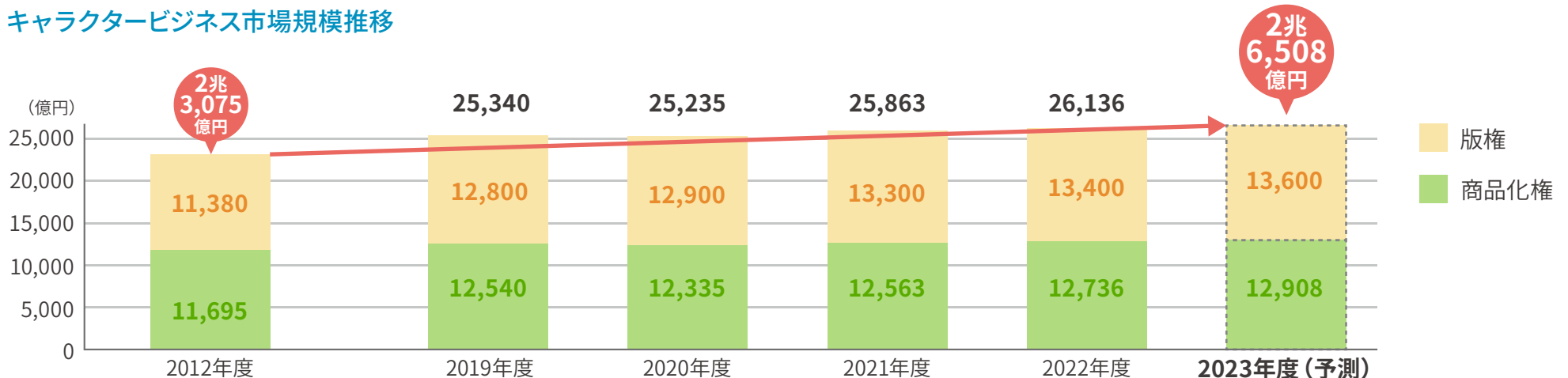
2012年度と比較するとすでに3,000億円を超える伸びを見せており、キャラクタービジネスは毎年堅調に推移しています。この分野では毎年多くのファン層を持つ作品やキャラクターが次々と登場しており、今後も拡大傾向が続くと推測されます。

これに伴って缶バッジを内容物とするガチャガチャ（カプセルトイ）専門ショップの開店が各地で相次いでおり、また空港でも観光客向けに販売機が設置されるなど、着実な市場拡大の様子が伺われます。

将来的にも期待の持てる缶バッジビジネスはスモールスタートから参入でき、比較的ビジネス展開が容易です。一方で、それだけに市場競争は激しさを増しています。

缶バッジ市場で生き残るには、良質な缶バッジを適正価格で作る必要があります。そのためには、まずは素材となる缶バッジパーツ選びが非常に重要であると言えるでしょう。

キャラクタービジネス市場規模推移



参照:キャラクタービジネスに関する調査を実施(2023年)|矢野経済研究所

良い缶バッジパーツとは？

先にも示したように、良い缶バッジ製作には良い缶バッジパーツを使うことが大切です。しかしそもそも「良い缶バッジパーツ」とは何を指すのでしょうか。

缶バッジパーツは生産国や販売元、価格帯で商品としての品質や特性が異なります。

例えば海外産のパーツは安く仕入れができて、輸送過程で傷やへこみが発生しているケースがあります。中国製やアメリカ製のパーツも市場に多く見られますが、これらは安価な分、日本人の感覚では許容しにくい品質であることも多いようです。とくにピン先の研磨の精度は日本製と海外製で大きく異なります。良い缶バッジパーツについて、指標となる条件には以下があります。

良い缶バッジパーツの条件とは？

品質のバラつきがない

例えば100万個注文しても、すべてのパーツで同じクオリティであることが大切です。色にムラがなく、傷、へこみなどの不良が発生していないこと、規格が守られていることが重要です。

安全性が担保されている

有害物質を含まない安全性の高い素材であること、またバリなどがなく、使用上においても安全であることが求められます。



仕上がりが綺麗

表面は滑らかで、傷やへこみ、ゆがみがない綺麗な仕上がりであることが必要です。

ピンの研磨がしっかりされている

ピンの研磨がしっかりされている缶バッジは、装着時も衣服を傷つけにくくなります。海外産の缶バッジは、研磨が甘いため針先が丸く刺しにくい場合があります。一方、国産の缶バッジはピン先がしっかりと研磨されているため、衣類の繊維を傷つけにくくだけでなく、スムーズに刺せるため誤って手を指してしまうリスクが低いという特徴があります。



▶ 次ページからはさらに缶バッジパーツ選びで留意したいポイントを解説していきます。

缶バッジパーツ選びで見るべきポイント①

一口に缶バッジ用のパーツと言っても、販売元（仕入れ先）によってさまざまな種類があります。ここでは、パーツ選びにおいて確認すべき主なポイントを説明します。

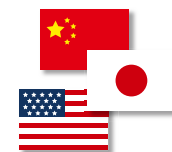
パーツの現物

写真や説明文だけでは、色味や質感、細部の造りまで正確に判断することができません。仕入れ先を選ぶ際には、サンプル請求や試し買いをして必ず現物を確認しましょう。



生産国

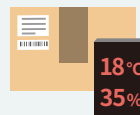
生産国によって品質および対コスト、納期保証などが大きく左右されます。なかには生産国（輸入元）をたずねても「分からない」と回答する販売元もあります。そうした業者はそもそも信頼性に欠けるため、取引相手としてはおすすめできません。



販売元の管理体制

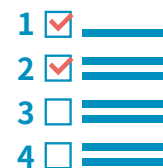
製品自体に問題がなくても、適切な管理がされていない場合には劣化が生じます。販売元の製品管理体制がしっかりとなされているか、とくにどのようなサビ対策をしているのかは重要な確認ポイントです。

▶ [管理体制については、次ページでさらに詳しく説明しています。](#)



セーフティーデータシート¹の提出が可能か

品質管理基準が厳しい企業の缶バッジを制作する場合には、品質管理シート（セーフティーデータシート／安全データシート（SDS））の提出が必要となるケースがあります。とくに海外に缶バッジを輸出する場合には各地域の規制があり、禁止されている素材などもあるため、その確認のためにも必要です。パーツの仕入れ先（販売元）を選ぶ際には、そうした準備がちゃんとできているかという点も確認するとよいでしょう。信頼できる販売元かどうかの指標にもなります。



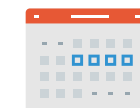
設備投資がしっかりされているか

大量発注を希望する場合、パーツの販売元に十分な規模の設備があることが重要です。少ない設備で回数をこなして生産数を賄う販売元の場合は、品質にバラつきが発生しやすくなります。そのため、しっかり設備投資がされており、大量生産にもある程度余裕を持って対応できる体制を整えているかどうかを確認するとよいでしょう。



納期

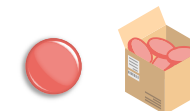
自社で予定している生産数（例えば月100万個など）に対し、確実に対応できる納品能力とその実績があるかどうかを確認します。



缶バッジパーツ選びで見るべきポイント②

最低ロット数

発注できる最低個数を確認します。必要に応じて対応可能な柔軟性があるかもポイントです。



対応できる パーツデザイン

どの程度の依頼内容であれば柔軟に応じられるのか、あらかじめ確認しておく心安心です。



サポート体制

納期の相談、品質についての質問、不具合があった際の対応体制などを確認しておきましょう。



品質管理・ 品質保証体制

仕入れ業者の選定において、とくに重視するべきは品質保持の管理体制です。品質管理とは製造プロセス中に品質を維持するための活動であり、一方の品質保証は製品が顧客に届く前に品質を確保するための活動を指します。品質保証は製造過程のみでなく、購買・設計・出荷・販売・カスタマーサービスなど企業のあらゆるプロセスでの品質を担保するという意味を持ちます。

缶バッジパーツの場合では、もっとも重要なのが保管状態です。温度や湿度の影響を受けやすい缶バッジパーツは、規格通りの品質で生産されても、その後の保管状態によって品質が劣化することがあります。とくに缶バッジの大敵であるサビ対策については、乾燥剤を使用している業者が一般的ですが、じつはそれだけでは不十分です。わずかな環境の不備によってもサビの発生のリスクが高まるため、独自にしっかりと対策をしている業者のパーツを選ぶのがベストな選択です。具体的な例としては、防錆剤使用、倉庫内の湿度管理、サーキュレーターによる空気攪拌の実施などがあげられます。



生産体制

ビジネスの円滑化のためには、発注に対する確実な納入も良いパーツ選びの条件として考えておきましょう。環境を整備した大型倉庫を備え、余力を持った在庫のある業者であれば、必要数の確保が容易になります。迅速な生産体制を保有し、大量発注にも即日発送で対応できる業者が理想的と言えます。



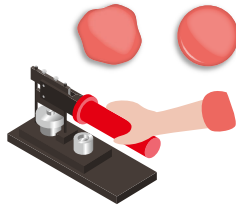
パーツだけではなくマシンもこだわりを

ここまで缶バッジパーツについて解説してきましたが、品質の良い缶バッジを提供するためには良質なパーツだけでなく、適切な缶バッジマシン選びも重要です。缶バッジマシンに問題があると、製作工程において不良率や生産効率の面でのリスクが生じます。このページではビジネスに安定化をもたらすマシンの選び方を解説します。

缶バッジマシンの導入に際しては、生産量、体制に応じて自動・手動タイプを検討します。ごく小規模なビジネスの場合を除き、**一定の品質を保持しながら量産体制を整えたいのであれば自動缶バッジマシンがおすすめです。**

手動マシンの場合

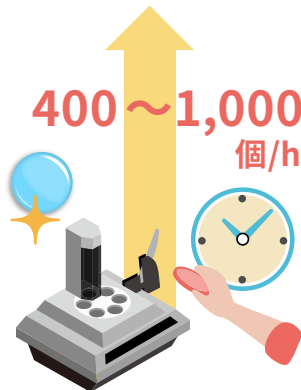
作業者の力の入れ加減で圧力が変わるため、仕上がりにバラつきが出る可能性があります。



自動缶バッジマシンの場合

圧力が一定であるため、品質が一定水準に保たれ不良品が発生しにくいというメリットがあります。

さらに回転テーブルの操作やハンドル操作によってプレスする工程を自動化できるため、仕上がりを一定品質に保ちつつ、大量生産に対応できます。具体的な数としては、1時間当たり約400～1,000個の生産能力を提供します。



また、手動マシンの場合では、作業者の熟練度による品質の不均衡が発生しやすくなります。そのため生産数と品質を維持するためには、スキルと生産に見合った人員が必要となります。

缶バッジ製作ビジネスにおいて、商品の均一性は絶対的な条件です。人の手が変わっても、同一のクオリティで安定生産できることが求められます。巻き込みによるしわなどのトラブルを回避し、安定的な生産体制を実現するためには優れた性能の缶バッジマシンの導入が不可欠です。

また作業中の安全性はもちろん、機器としての耐久性やメンテナンスの面も考慮する必要があります。市場には安価な缶バッジマシンも多くありますが、耐久性が低く使用しているうちに劣化やゆがみで缶バッジのクオリティに悪影響を及ぼしたり、メーカーのサポートが乏しく不具合が出ても修理できなかったりといったケースがあります。長く安定した缶バッジ製作を行うためには、こうした点も視野に入れて缶バッジマシンを選ぶようにしましょう。

缶バッジマシンについては、以下でも詳しく解説しています。



「自動缶バッジマシンの有用性と選び方」



「稼働体制にあった缶バッジマシンの選び方について」

Ebookはこちら ▶

お役立ちコラムはこちら ▶

ハイクオリティな缶バッジパーツは「バッジマンネット」をご利用ください



バッジマンネットは株式会社ベックが運営する、缶バッジマシンとパーツの専門店です。
2001年より販売を開始し、20年以上の販売実績を持つ、業界のリーディングカンパニーとして知られています。

特徴は何と言っても豊富な品揃えと品質の良さです。缶バッジの本場であるアメリカの高品質な商品と、消費者ニーズに応えるこだわりの日本製自社商品を幅広く提供しています。缶バッジマシンは手動式から自動式まで、予算や用途に合わせた幅広いラインナップが魅力です。すべてのマシンにおいて、PSEマークを取得しており万全な安全保証を行っています。

また、バッジマンネットでは缶バッジ用紙やカッター、安全ピンなど、缶バッジ製作に必要なパーツも用意しています。バッジマンネットで販売するパーツは、高品質な素材を使用し、細部までこだわった作りが持ち味です。さらに、徹底した商品管理体制の実施もバッジマンネットの強みのひとつです。倉庫内環境の整備にくわえ、自然由来で環境にも優しい防錆剤「CORTEC VpCI146」を採用。パーツ一つ一つが常に最高の状態であるよう配慮しています。

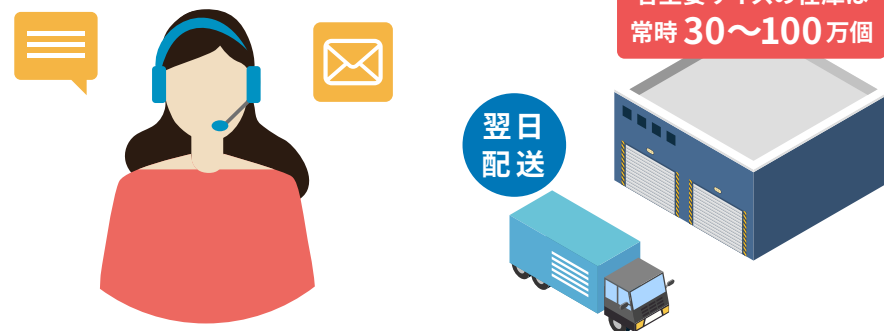
自社開発の国産品パーツに関しては独自の設計図面があり、その設計通りに製造されているかの確認には3D測定器を用いて誤差を測定するといった、業界内でもとくに厳しいチェック体制を敷いています。

くわえて、依頼に応じた商品配送が素早くできるよう、缶バッジパーツの各主要サイズは常時30~100万の豊富な在庫を持ち、いつでも必要な量を提供できる「倉庫代行」としての役割も果たします。関東・関西の主要地であれば、最短で注文翌日の配送も可能です。

もう一つの大きな特徴が、バッジマンネットのビジネスにおける姿勢です。バッジマンネットでは缶バッジ製作事業を行っていないため、お客様の競合とはなりません。

長年培った缶バッジ作りに関するノウハウを惜しみなく提供し、手厚いサポートを提供しています。

自社サイトには、缶バッジの作り方、マシン、パーツの選び方や使い方、よくある質問などが掲載されており、お客様が自力で疑問解決するのに役立ちます。もちろん電話やメールでのお問い合わせにも丁寧に対応しているので、困ったことがあればいつでも気軽に相談できて安心です。



まとめ

今後も拡大が期待できる缶バッジ市場は、ビジネスの舞台としてとても魅力的です。そのなかで成果を得ていくためには、缶バッジのベースとなるパーツに目を向け、細部から差別化を図っていく必要があります。

小さなパーツにこだわることで、缶バッジの仕上がりに大きな差が出ます。まずは良質なパーツを必要に応じて柔軟に提供してくれる、信頼性の高い業者をパートナーに選ぶことが重要です。

バッジマンネットは誰よりも缶バッジ製作に精通し、徹底した管理のもと高品質のパーツをお届けします。缶バッジ製作の幅広い知識と実績を持ち、お客様の課題や疑問に対する回答を提供します。

**缶バッジマシンとパーツに関してお悩みの際は、
ぜひお任せください。**



<https://www.badge-man.net>

お問い合わせ ▶

資料請求 ▶